

animal donation magazine

animal
donation

ad

アニマル・ドネーション活動報告 <第6期> 2015年6月～2016年5月

キモチをカタチに

アニマル・ドネーションとは？

寄付サイトの運営、
団体支援をするスタッフたち

お買い物すると寄付できる♪

犬とワタシの生活が
楽しくなるグッズ

実はあまり知られていない。

保護団体の活動に
密着取材！

公益社団法人

アニマル・ドネーションとは？

人と動物が良きパートナーとして、共に幸せに暮らせる社会を作っていくために、動物福祉活動がんばっている団体と、寄付を通じて団体を支援したい人をつなぐ寄付サイトを運営しています。団体の活動内容をわかりやすく伝え、そして、寄付をしたいと思った時に寄付がしやすい仕組み作りを使命としています。

「キモチをカタチに」

愛する動物のために自分も何かしたいと思う人たちのアクションをサポートして、日本の動物福祉を世界トップレベルにしていきます。

1. 動物福祉活動の支援に特化した寄付サイトの運営

2011年に「日本初」の動物関連限定のオンライン寄付サイトをオープン。動物保護、補助犬育成などを行う団体の活動情報をサイト上に公開して寄付を募り、一般の方や企業は寄付したい団体を選択できます。企業とタイアップした寄付つき商品も紹介しています。

2. がんばる団体のサポート活動

寄付金の管理や広報活動支援のほかにも、情報共有、勉強会運営、印刷物の発行を通じて、関連団体をサポートしていきます。個々の団体が持つ優れた手法や成功事例をナレッジ化して、業界全体のつながりやポトムアップを図っていきます。

3. 「人と動物の真の共生」を社会に広める活動

人にも動物にも負担が少なく、より調和した社会を目指して、多くの市民や企業の方々に動物福祉への認知や関心を高めてもらうために、リサーチのまとめや専門家インタビューなどの情報発信や啓発活動を行っています。

家族の一員として愛情をたっぷり受け、幸せに暮らすペットがいます。かたや、飼えなくなったからというような私たち人間の都合で不幸な道をたどる動物たちがいる、そのことをなんとなく知っていました。ですが、当時（2009年度）年間28万頭、日換算にして800頭もの動物が殺処分されていることを知ってしまった時、私が動き出した瞬間でした。「知ってしまった」以上見過ごすわけにはいかない。なぜなのか、他の国とはなにが違うのか、いてもたってもいられず貪欲に調べはじめました。

設立ストーリー



代表理事：西平 衣里

企業とのコラボ寄付活動

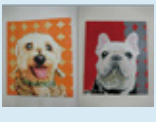
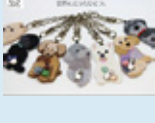
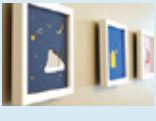
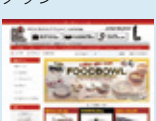
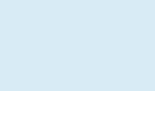
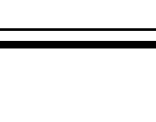
フロントライン セーブペットプロジェクト



動物病院で処方されるフロントラインの売り上げの一部を飼い主のいない犬や猫のために役立てる「フロントライン セーブペットプロジェクト」では、2013年度より、受付窓口を公益社団法人アニマル・ドネーションが行っています。

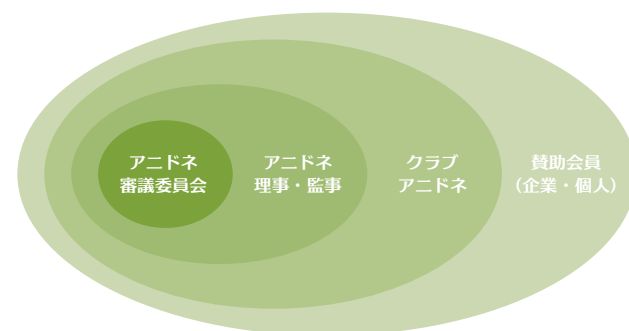
+ (プラス) イイコト

商品（もしくはサービス等）を購入すると、その売り上げの一部がアニマル・ドネーションを通じて、支援先団体へ寄付される『+イイコト』企画。

	マーケティングパートナー株式会社 愛犬愛猫のためのプレミアムフード専門店	
	日本全業工業株式会社 動物医療薬メーカー	
	株式会社リフレックス ペットの健康を考えたショップ&サロン	
	株式会社リレンティー ペットと人の喜びをつなぐ犬&猫の総合ショップ	
	株式会社 wildberry 人とペットのためのライフスタイルグッズ	
	T's Doggie Private Room トリミングサロン、ペットホテル等	
	only wan 愛犬のビーズアイテム	
	flatten meows アーティストが作る NY 発 猫の作品	
	ウールーシュシュ 羊毛フェルト作品	
	KENEN ～犬縁～ T-Shirt 愛犬と人のお揃い T シャツ	
	古本市場オンライン 黒猫シリーズのアイテム	
	アニマー湯 大分の天然素材をペットにお届け！	
	ライフアート株式会社 暮らしを豊かにするサービスやアイテム	
	わんこ＊ぶらネット ペット専門の撮影&ペットグッズ	
	LOVE STORY PHOTO ドキュメント・アート写真家 窪田誠氏の撮影プラン	
	LOVE FOR DOGS オトナとイヌのおしゃれアイテム	

スタッフ紹介

アニマル・ドネーション（以下、アニドネ）は「動物のために自分のチカラを使いたい」というメンバーに支えられています。理事・監事に加え、ボランティア組織である「クラブアニドネ」、そしてアドバイザリーボードである「審議委員会」、支援によって支えてくださる「賛助会員」によって組織運営されています。



理事・監事



西平 衣里
代表理事／マネジメントディレクター

幼い頃から無類の動物好きで魚・鳥・猫と共に育つ。アニドネ寄付サイト運営が自身の社会貢献と位置づけ、動物との幸せな共生社会実現を目指す。



川端 美理可
理事／WEB ディレクター

動物たちの現状を知ってもらい、動物たちのために日々活動している団体へのドネーション（寄付）に賛同いただけるサイト作り＆管理を担当。



齋藤 健一
理事／マーケター

日本における人と動物との共生を、もっと楽しく幸せなものにしたいとの想いから、「INUTO（イヌト）」を作るなかでアニドネのビジョンに共感。



松本 優
監事／税理士

税理士という立場から「何か力になれることはないか」と考え、動物との共生社会の実現を目指す団体の運営や公益法人化などの会計・税務を支援。



川端 真澄
理事／システムエンジニア

現在は動物とは暮らしてはいないが、日本の動物の現状を知るにいたり、「現状を変えたい！」とアニドネのサイト設立のプロジェクトに参加。



上野 歩美
理事／プランナー

学生時代から海外途上国支援にも従事。溺愛する保護犬「茶太郎」との出会いで日本国内の動物福祉途上の実態を改めて知り、アニドネに参加。



竹前 努
理事／オフィスマネージャー

志を同じく活動している個人や団体が繋がり、大きなムーブメントを起こすことが大切だと考え、アニドネをハブにしたネットワーク作りを目指す。

クラブアニドネ

*活動拡大をするためにボランティア組織【クラブアニドネ】のスタッフは随時、募集をしています。現在、動物と暮らしてなくても、動物が好きで動物のために役に立ちたい、と思っている方を希望します。詳しくは、アニドネのHPをご確認ください。



中山晶子



中山良一



近江淳



中山タ香里



坂本優子



福田優美



西村英里



今井由江



北井朋恵



文園礼子



丸山美穂



小川美枝子



菊池恭子



松崎利恵



大橋恵



山入端佳那



山本和子



今岡寛晴



小早川斉



糸ひとみ



竹前朋美



尾崎絵里



中野愛子



岡部有里



望月舞

審議委員



越村 義雄
一般社団法人 人とペットの幸せ創造協会 会長

貴重な支援資金を動物福祉のために、取材や調査に基づき適切な寄付先を選定して、明確な情報開示をされているアニドネの活動に大いに期待します。



宮城 治男
NPO 法人 ETIC. 代表理事

動物領域にプラットフォーム的な機能を提供するアニドネの役割は、今後ますます大きくなると期待しています。



舞田 竜宣
HR ビジネスパートナー株式会社 代表取締役

善意の寄付が、確実に有効に動物たちを救うことに繋がるように。アニドネの活動は、動物愛護の意識が高まる日本において重要性を高めるはずです。

実はあまり知られていない。 「動物保護団体」 ってどんな活動をしてるの？

アニドネは、企業・個人の寄付者様からお預かりした寄付を、「保護団体」「補助犬団体」「啓発団体」という動物福祉に関する団体へお渡ししています。今回はアニドネの寄付先の一つである「ワンダフル・ドッグス（以下、ワンドク）」の《保護犬・ファビアン》を例に、保護団体がどんな活動をしているのかを取材してきました。

なぜ保護犬が生まれるのか、保護犬はどんな生活を送っているのか、新しい家族（里親）はどうやって見つけるのか、寄付がどのように使われているのかなど、知っているようで知らない保護団体の活動について詳しく紹介します。（取材・文／福田 優美）



ファビアン

1 犬はどこからレスキューされるのか

動物愛護に興味がある人なら「レスキュー」という言葉を聞いたことがあるかもしれません。レスキュー（英：rescue）とは、その名の通り危険な状態にある犬を救出するということです。レスキューが必要な犬は、いくつかの経緯で保護団体の元によってきます。

① 保健所からの引き取り（別名：動物愛護センター、動物保護センターなど）



行政管轄の保健所では地域内の迷子犬や、飼い主に飼育放棄された犬たちを収容しています。犬たちはここで一定期間収容されますが、その間に飼い主が現れない、または新しい飼い主が見つからない場合は殺処分されます。「ワンドク」は、活動拠点として登録をしている埼玉県やさいたま市などの保健所をインターネットで毎日チェックし、殺処分の恐れがある犬をレスキューします。《保護犬・ファビアン》は2015年4月に保健所からきました。

② 繁殖ブリーダー崩壊

ニュースなどで時々目にすることがありますが、ブリーダー崩壊とは、犬を繁殖させすぎた結果、犬の面倒を見きれない状態に陥ることです。狭い室内で繁殖のためだけに生かされているような犬がいるなど、劣悪な環境であることも珍しくありません。これまで保健所ではブリーダーから依頼があれば、「いらなくなった犬」を引き受けていました（その後どうなるかは想像できますよね）。しかし、平成25年の動物愛護法改正で引き取り拒否ができるようになると、ブリーダーは容易に犬を処分できなくなりました。そのため保護団体はブリーダーと話し合い、増えすぎて面倒を見られなくなった犬をレスキューという形で引き取っています。

③ 個人の飼育放棄



「犬が言うことを聞かない」、「思っていたよりお金がかかる」、「臭い、うるさい」、「引っ越すから飼えなくなった」など、自分勝手な理由で犬の飼育を放棄する人がいます。一方で、高齢のため入院、子供のアレルギー発症、転職による金銭的事情など致し方ない理由の場合も多くあります。「ワンドク」では個人から犬の引き取りは行っていません。しかし、直接レスキューはしなくても、捨てられたり保健所へ連れて行かれたりした犬たちは、結果的に「ワンドク」やその他の保護団体の元へやってくるのです。

④ 保護団体同士の助け合い

日本には動物保護団体がたくさんあり、各団体それぞれに、「活動拠点はここエリア」や「こういう犬種に強い」などの特徴があります。そのため「団体Aが犬をレスキューしたけど収容キャパが足りない」、あるいは「この犬種なら団体Bに預けたほうが里親を見つけてもらいやすい」といった明確な理由がある場合、団体間で犬を受け渡すことがあります。「ワンドク」でも、犬の幸せを願うため団体の枠を越えて犬を預かったり、また預けたりすることがあります。

2 レスキュー直後の犬たち

レスキューされた犬は、健康・衛生状態が悪いことがしばしば。爪切りはおろか、毛が伸びすぎて顔が分からないということもあります。また、なかには一度も歯磨きをされていないような犬もいます。《保護犬・ファビアン》はどんな様子だったのでしょうか。

① トリミング＆グルーミング



保健所から来た《保護犬・ファビアン》もレスキュー直後は毛が束になりゴワゴワ。長い間ブラッシングをされていなかったため、毛艶がなく毛玉だらけでした。シャンプーをするのに、トリマーさん2人がかりで3時間ほどかかったほどです。今は毎月1度トリミングサロンでシャンプーをしてもらい、爪切り、肛門腺絞り、耳そうじなどもしてすっきりきれいになっています。

② 動物病院での健康診断

きれいになったら次は病院で健康診断。不衛生な飼われ方をされていたり、外飼いなどで十分にケアをされてこなかった犬は、皮膚病やその他の病気を持っていることが多いです。「ワンドク」で行う検査は、血液、便、フィラリア、レントゲン、エコー、マイクロチップの有無、避妊去勢手術、ワクチンなど。病気がちな犬や老犬は、これよりさらに専門的な検査をすることもあります。もちろん、《保護犬・ファビアン》もこれらの検査を受けました。

③ シェルター内での隔離部屋生活



健康診断でワクチンを接種したあと2週間は、「ワンドク」シェルター内の「隔離部屋」で生活をします。先住犬との接触を避けることで、病気やケガの広がりを予防します。先住犬に少しずつ慣れさせることで双方のストレスを軽減するという目的もあります。隔離部屋にいる間は、検査結果に従い個々に必要な治療を受けさせます。幸い、《保護犬・ファビアン》は病気もなく通院の必要はありませんでした。

④ シェルター内での共同部屋生活

隔離部屋での生活を終えたら、先住犬たちとの共同生活が始まります。大勢の犬と一緒に暮らすことで、犬は社会性を身につけます。「ワンドク」ではお手、おすわりなど人間都合のトレーニングはしません。特別なことは何もしなくても、きちんと愛情を持って叱るだけで犬は人間と共存できる、というのが代表・岩淵さんの考えだからです。夜になると、体の大きなファビアンは一番大きなハウスで眠ります。

アニドネ支援先団体一覧

補助犬団体



公益財団法人
東日本盲導犬協会



社会福祉法人
日本介助犬協会



一般社団法人
聴導犬推進協会

啓発団体



公益社団法人 日本動物福祉協会
Japan Animal Welfare Society(JAWS)



公益財団法人
神奈川県動物愛護協会



公益社団法人
日本動物病院協会 JAHA



特定非営利活動法人 ビースウィングス・ジャパン
「ビースワンコ・ジャパン」プロジェクト



特定非営利活動法人
DOG DUCA

保護団体



特定非営利活動法人 日本動物生命
尊重の会-アリス (Animal Life Station)



ちばわん



アニマルレフュージ
関西-アーク



特定非営利活動法人
Wonderful Dogs-ワンドク



Dog Shelter
(ドッグシェルター)



石川ドッグレスキュー



動物いのちの会いわて



アニマル・ハート・レスキュー

3 シェルターで一日

新しい飼い主（里親）が見つかるまで他の保護犬たちと一緒に生活をする《保護犬・ファビアン》。シェルターでどんな一日を送っているのか、時間で追ってみました。

7:00 ～ トイレ、フリータイム（犬同士遊んだり、スタッフと遊んだり、勉強する時間）
9:00 ～ 朝ごはん（大好きな時間♪）



9:30 ～ 朝食後ハウスで休む（その間スタッフは掃除や洗濯）



11:00 ～ フリータイム、病院など（通院が必要な犬は病院へ）

14:00 ～ トレーニング、散歩（一度に行けないので数匹ずつ順番に）



18:00 ～ 夜ごはん、食後ハウスで休憩（通院が必要な犬は病院へ）



20:00 ～ フリータイム

24:00 ～ 就寝

4 新しい飼い主さんの元へ！

シェルターでの生活に慣れたら、今度は新しい飼い主（里親）探しの始まりです。《保護犬・ファビアン》が幸せな第二の犬生を送れるよう、スタッフは犬の性格や特徴を SNS などで発信し、相性の良い里親さんを探します。

① 保護犬をホームページへ掲載

「ワンドク」の HP に《保護犬・ファビアン》の犬柄がよくわかる写真とプロフィールを掲載します。ブログでは、普段の生活や犬の健康状態も紹介しています。サイトを見た人から里親に関する問い合わせにつながるがあるので、日々様子を発信することはとても大切な活動です。
「ワンドク」の HP には、現在の里親募集中の犬のほかに、卒業した犬たちのプロフィールもたくさん掲載されています。

② 保護犬のための譲渡会



次はいよいよ譲渡会です。大勢の人が行き来する譲渡会は、犬にとって精神的に負担になりやすいので、参加するのは月 2 回くらいまで。譲渡会には、お目当ての犬に会いに来る人、ふらっと立ち寄った人など様々な人がやって来ます。「ワンドク」のスタッフは犬たちにぴったりの飼い主が見つかるよう、里親に興味がある人とは、犬の性格、生活、持病、癖、家庭の事情などいろいろなことを話します。《保護犬・ファビアン》ももちろん譲渡会に参加しています。

③ トライアル

里親候補が現れたらトライアル（お試し期間）の開始です。でもその前に、スタッフによる家庭訪問が行われます。犬が安全に暮らせる家か、誤飲につながる物は落ちていないか、ケガをしやすい危険な場所はないか、など細かくチェックが行われます。安全が確認されればその日から、改善が必要な場合は後日改めてトライアルがスタートします。トライアル中は、家族全員で犬を新しい家族として迎えることができるか、先住犬がいる場合は相性は大丈夫かなどを確認します。《保護犬・ファビアン》もトライアルに行く日を今か今かと待ち望んでいます。

④ 新しい家族の元へ！



2 週間のトライアルを終え問題がなければ、いよいよ正式譲渡となります。保護犬が新しい家族に迎え入れられる瞬間です！レスキューから正式譲渡まで、早ければ数週間、遅ければ数年の時間が経っています。若くて元気な犬は里親が見つかりやすく、持病がある犬や老犬は時間がかかることが多いのです。
ただし「子犬の世話は大変だから成犬がいい」、「老犬ののんびりした雰囲気が好き」、「病気の犬の看護経験があるから持病は気にしない」など犬と人にはそれぞれ相性があります。
ワンドクでは全ての犬が幸せな犬生を送れるよう、それぞれの犬にぴったりの飼い主を探します。《保護犬・ファビアン》もただいま里親を絶賛募集中です♥ ※里親募集の情報は 2016 年 12 月 20 日現在のものです。

犬を飼う前にもっと犬のことを知ってほしい 「ワンダフル・ドッグス」代表（岩淵さん）の想い

《保護犬・ファビアン》のような和犬は、ダブルコートと呼ばれる二重の被毛を持っているので、丁寧なブラッシングが必要です。特に換毛期は一日に何度もブラッシングをしてあげないと毛がすぐ束になって、家中毛だらけになってしまいます。飼う前にそういう犬の特徴を知るとはとても大切です。家庭環境やライフスタイルによって、飼いたい犬と飼える犬は違うということを知っておいてほしいんです。
犬を飼う前に、あなたのこれからの人生を想像してみてください。引越す可能性、お子さんを持つ可能性、その子が犬アレルギーかもしれない可能性など、全部考えたうえで犬を飼いはじめてください。犬を飼うには相当のお金がかかるので、経済的な計画も必要です。生き物を迎えるということはそれほど責任が伴うことですが、犬を飼うことで私たち人間はとても大きな愛情と幸せを与えてもらえます。



犬の保護にはこんなにもお金がかかる！

保護犬がシェルターにいる間、保護団体では様々な費用が必要になります。多くの保護団体では寄付により活動費を賄っています。ここでは「ワンドク」で一匹の犬にかかる費用を大まかに紹介します。

※犬種、体格（小型犬か大型犬か）、持病の有無、通院回数などにより異なります。

<レスキュー直後>

- ・ワクチン 5,000 円
- ・検査 20,000 円
(触診、便検査、血液検査、フィラリア検査、耳検査、レントゲン、エコーなど)
- ・マイクロチップ 3,000 円
- ・避妊・去勢手術、スケーリング 15,000 円
- ・狂犬病予防接種 3,000 円



<日常生活>

- ・フード 300 円 (1 日 2 食)
- ・ノミダニフィラリア 2,000 円 (1 ヶ月)
- ・トイレシート 5 枚 50 円 (1 日)
- ・日用品 5,000 円
- ※ 1 ヶ月の内訳：消毒剤 (バイオチャレンジ)、掃除用 (オレンジエックス、フローリングドライシート、ウェットシート、漂白剤、食器用洗剤、洗剤、ゴミ袋、クレンザー)
- ・その他 (足ふきウェットティッシュ、イヤークリーニング、歯磨きシート、シャンプー、サプリメント、おやつなど)

<よくある治療費の一例>

- ・便検査 1,000 円 (1 回)
- ・皮膚検査 1,000 円 (1 回)
- ・外耳炎治療 2,000 円 (1 回)
- ・外傷治療 2,000 円 (1 回)
- ・遺伝疾患による手術 50,000 ～ 100,000 円

INUTO



INUTO とは？

「犬」とワタシの生活がもっと楽しくなる、というコンセプトでアイテムの販売、開発、アーティストとの商品コラボをしているオンラインショップ。犬と、もっと楽しく過ごしたい。犬と、もっと出かけた。犬と、もっと一緒に人生を楽しみたい。そんな方にピッタリの、犬にとって優しい素材の Goods、遊べる Goods、お出かけが楽しくなる Goods がいっぱいあります。今回はその商品の一部をご紹介します。

「INUTO」で商品を購入すると、商品代金の 5% がアニドネに寄付されます。



ゆったり寛げる
デッキチェア&骨型クッション

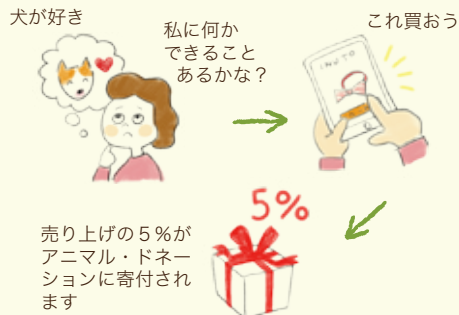
OKAYAMA DENIM LABO「araiyan」と「INUTO」がコラボ
材質にこだわり、一つひとつ丁寧に作られた犬のデッキチェア
木製フレームはヒノキ（一枚板）を使用しているので、軽量で女性でも楽に持ち運べるのが特徴です。その木材も引っぱりが無いよう職人が丁寧に面取り加工を施しています。塗料も安全性を重視し、ヨーロッパで最も優れたワックスとして支持されている、蜜蝋などを主原料にブレンドした天然由来ワックス「BRIWAX」を使用するなど、随所に犬への想いが込められた温もりを感じるアイテムです。



◇商品名：犬のデッキチェア
◇価格：18,500 円（税抜）
◇素材：本体／ヒノキ（一枚板）、シート／デニム（コットン 100%）、紐／アクリル 100%
◇原産国：日本
◇サイズ：本体（約 W63.5×D63.5×H21cm）、シート（約 W63×D63cm）
※耐荷重／約 10kg、総重量／約 2kg
※商品により風合いが異なります。

◇商品名：デニムの骨型あごのセクション
◇価格：S 1,700 円（税抜）、M 2,500 円（税抜）
◇素材：デニム面／コットン 100%、中綿／ポリエステル 100%
◇原産国：日本
◇サイズ：S（約 W28×D14×H4cm）、M（約 W46×D21×H7cm）
◇カラー：表裏のデニムカラーが異なります

INUTO でお買い物すると動物助けができます



inuto.jp
春に向けて新作グッズを開発中！

shopping



プラス

+ イイコト



秋・冬の新作イチオシアイテム
チェック柄マフラー

愛犬と“お揃い”で使える INUTO オリジナルマフラー

ウール製品で有名なアイルランドにおいて、1893 年に設立して以来ずっと天然繊維にこだわり、マフラーやショールなどを作り続けてきたジョン・ハンリー社。色や柄が独特の風合いを醸し出し、通常のウールよりも細いため、保湿性が高く、肌触りが良いという特性もあります。この人用マフラーを使い、飼い主と愛犬のためのオリジナルマフラーを仕立ててくれます。色&柄は 5 種類あるので、愛犬とリンクコーディネートしてお出かけをしてみても♪

◇商品名：チェック柄マフラー（飼い主用）
◇価格：5,800 円（税抜）
◇素材：ラムズウール 100%
◇原産国：アイルランド
◇サイズ：全長 150cm × 幅 30cm
※サイズはフリンジ部分を含みます。
◇カラー：全 5 色（オレンジ×イエロー、ブルー×グリーン、ブルー、レッド、ネイビー）

◇商品名：犬のチェック柄マフラー（犬用）
◇価格：4,800 円（税抜）
◇素材：ラムズウール 100%
◇原産国：日本
◇サイズ：S（全長 45cm × 幅 5.5cm）、M（全長 55cm × 幅 6.5cm）
※サイズはフリンジ部分を含みます。
◇カラー：全 5 色（オレンジ×イエロー、ブルー×グリーン、ブルー、レッド、ネイビー）

思わず笑顔になる
Happy Goods



◇商品名：愛犬ネームガーランド
◇価格：一文字 330 円（税抜）



◇商品名：犬のおもちゃ箱（2 個セット）
◇価格：3,000 円（税抜）



◇商品名：only wan 吹き出し型リードアクセサリ
◇価格：1 個 3,000 円（税抜）

演出アイテムで楽しく
Party Goods



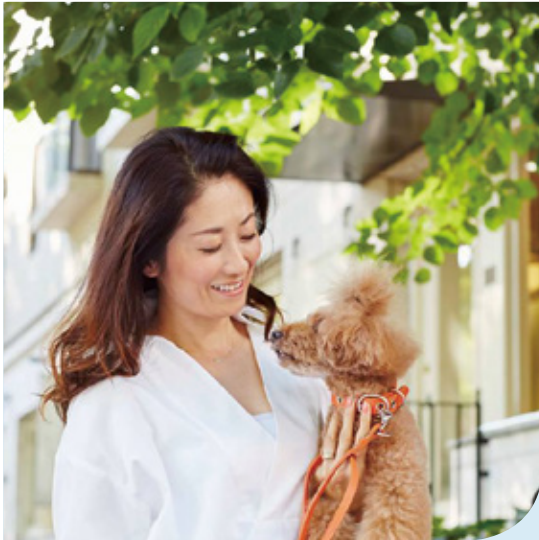
◇商品名：only wan フェルトボールのお揃いアクセサリ（犬のネックレス+飼い主用ヘアゴムセット）
◇価格：S（約 20cm）3,800 円（税抜）、M（約 30cm）4,800 円（税抜）
◇カラー：ホワイト×イエロー、ブルー×パープル



◇商品名：犬の蝶ネクタイ（マルチカラー）
◇価格：4,800 円（税抜）



◇商品名：犬のコスチューム（カエルちゃん）
◇価格：2,500 円（税抜）



アニマル・ドネーション
代表理事：西平 衣里

アニドネ活動レポート＜第6期＞ 「公益法人」として歩みだした年でした

2015年4月に私共は「公益社団法人」という内閣府認定法人となりました。申請にあたっては、スタッフ一同でアニドネの活動を精査し、そして今後、社会にどう貢献していきたいのかを時間をかけ真剣に議論しました。その申請における一連の業務は、アニドネが「公」の法人として存在する意義を私たち自身が明確にできたい機会でもありました。『キモチをカタチに』。法人設立当初からのショルダーフレーズです。「大好きな動物たちのためにになにかしたい」そんなあたたかいキモチを「寄付」というカタチで現場で活動する団体様へ責任をもって届けるのが私たちのミッション。その寄付によって「日本

の動物福祉を世界トップレベル」に、それが私たちの目指す大きな目標です。

公益社団法人の運営は大変な労力が必要となります。しかしそれは私たちが大切なお寄付を管理している公益法人としての「透明性や公平性」が求められているうえで当然のことと考えております。私共を経由することにより、みなさまからのお寄付は「寄付金控除等の税制優遇措置の対象」となります。引き続き高い目標に向け、スタッフ一同強い志と信念を持ちながら、真摯に活動が続けていく所存です。

クラウドファンディング支援（アニマルブリッジプロジェクト）



「人と動物が共に幸せになる」をカタチに

「クラウドファンディング」とは、インターネットを介して資金を集めることに加え、プロジェクトオーナーの想いに共感する人たちからの応援を受けながら、一人だけの力ではできなかったことを実現していける仕組みです。アニドネでは、動物のために頑張る団体が行うプロジェクトを紹介し、動物への「キモチをカタチに」する方々の「出会いとアクションの場」を拡大できればと思っています。



JAPANGIVING

キドックス保護犬運搬用の車両購入
150万円チャレンジに成功しました。



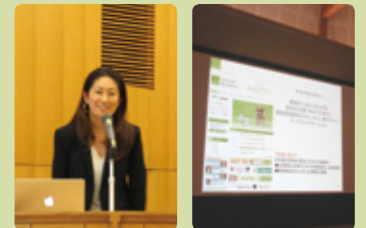
kibidango

ネコリパブリックとのコラボ企画
猫専用おもちゃ「猫もぐらたたきBOX」
販売金額110万円を達成しました。

動物福祉向上へのイベント参加

東京大学にて開催の「日本ペットサミット」に登壇

「どうぶつ達と共に暮らす幸せな社会をつくる会（J-PETS）」の設立記念シンポジウムが、東京大学で開催されました。その中で、アニドネ代表の西平が「今どきの動物保護活動事情」についてお話しさせていただきました。186名参加と会場は満員で、日本最高のアカデミアの場（東京大学）で、いよいよペットについて考える場が設置されたことへの大きな期待が寄せられています。



HUG ANIMALS! sharing life for "0" PROJECT vol.1

神奈川県立辻堂海浜公園にて、神奈川県で保護された犬と猫の殺処分ゼロの維持、全国の殺処分ゼロを目指すイベントが初開催されました。アルシャー京子さん（ドイツ連邦共和国獣医師）、大西純子さん（「ピースワンコ・ジャパン」プロジェクトリーダー）、小野慎二郎さん（柴犬まるちゃんの飼い主）、アニドネ代表：西平によるトークショーをはじめ、救助犬デモンストレーション、しつけレッスンなども行われました。



第6期 収支表

（2015年6月1日～2016年5月31日まで）

（単位：万円）

収入		1,788
	受取寄付金	1,710
	その他収入	78
支出		1,792
	支払寄付金	1,499
	その他支出	293
財産増減額		
期首残高		319
当期増減額		-4
期末残高		315

※受取寄付金には指定正味財産の増額も加算しています。

ご声援ありがとうございます。
みなさまのご期待を裏切らない活動を、
今後も続けていきたいと思ひます。

第6期 寄付総額 1,710万円

● 寄付企業・団体（45団体） ● 寄付個人（550名）



SAVE PET
PROJECT



メリアル・ジャパン株式会社

かざして募金

INUTO

Pets Depot Town

ZENOAQ

gooddo

ONE BRAND

PET NUTRITION

CyberAgent

Shall Be

TOKYO ZERO すべてのペットが
幸せになれる未来に



オルタス ORTUS JAPAN ジャパン



furu online.net
古本市場オンライン



株式会社ファインズコーポレーション

only wan



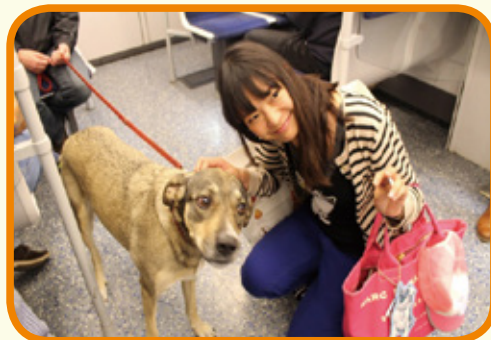
ColorZoo

LOVE FOR DOGS

◆社名一覧◆ HR ビジネスパートナー株式会社／株式会社オルタスジャパン／only wan／株式会社カラース／gooddo 株式会社／株式会社サイバーエージェント／ソフトバンク（株）提供の寄付プラットフォーム「かざして募金」／株式会社 地方創生／株式会社鉄人社／TOKYO ZERO キャンペーン／日本全業工業株式会社／株式会社ファインズコーポレーション／株式会社 FORPETS（白金高輪動物病院・中央アニマルクリニック）／古本市場オンライン／フロントライン セーブペットプロジェクト／ベッツデポタウン／ペットフォトスタジオ わんこ＊ぶらネット／マーケティングパートナー株式会社／メリアル・ジャパン株式会社／ライフアート株式会社／株式会社リフレックス／株式会社 ONE BRAND（50音順）
※上記にご紹介させていただいた企業・団体様以外に、全国19カ所の寄付型自動販売機からご寄付をいただいております。

先進的な動物福祉国と言われるドイツ 動物保護施設「ティアハイム」を訪ねて

ドイツは動物福祉が非常に進んでいる国として知られています。ドイツにはティアハイム（Tierheim= 動物の家という意味だそうです）と呼ばれる動物の保護収容施設があり、動物たちの保護、そして仲介や譲渡を行っています。ベルリンにある施設が最も規模が大きく日本でも有名ですが、それ以外にもドイツ国内には 1000 ほどのティアハイムがあるとされています。その中のニュルンベルクにある施設を見学することができたので紹介したいと思います。（取材・文／桑 ひとみ）



ドイツでは地下鉄などの公共施設でも飼い主に寄り添う犬をよく見かけました。犬を連れていない人も犬のいる光景をごく自然に受け入れているのがとても印象的でした。



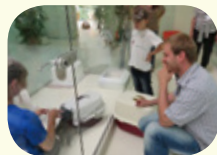
とても明るくお洒落な建物でパッと見ただけでは動物の保護施設だと分かりませんでした。アイスの屋台も出ていたり子供たちが愛犬と走り回っていたりと、とても賑やかな雰囲気でした。

日本で動物の保護施設、収容施設と聞くと、少し暗いイメージを思い浮かべてしまいましたが、ここでは友人同士やカップル、家族連れが気軽に訪れており、なんとウェディングパーティーをしているグループもいて驚きました（このティアハイムでは時々敷地を貸し出して、その収益を活動資金にしている、とのことです）。

ドイツのティアハイムは行政ではなく民間が管理しているので、税金ではなく、動物を愛する人々からの寄付や会費によって運営されているそうです。



建物に入ると最初に現れたのはガラス張りの清潔な猫舎。外から暖かい日の光が入り込んで猫たちもリラックスモードでした。猫たちのプライベートを配慮して白い布を使った隠れ場所があったり、キャットタワーや爪とぎスペースがあったりと、愛情あふれる作りになっていました。



新しい飼い主が見つかった猫ちゃん。譲渡のワンシーン

人が来ると興味津々だった猫ちゃん。とっても可愛い！



犬舎は室内と屋外を犬たちが自由に入出りできるようになっていました。屋外でスタッフとおもちゃで遊ぶ犬、訪問者に興味津々の犬、おやつタイムの犬もいたり、それぞれ好きに過ごしていました。



甘えん坊な大型犬。早く素敵な飼い主に会えますように

おやつを満喫中



イヌネコ以外にも、うさぎや小鳥等の小動物もたくさん保護されていました。



なんとアライグマもありました！



最後に、ニュルンベルクのティアハイムを見学して「このアイデアすごくいい！」と思ったのは建物の一角に募金スペースが設置されており、お金だけでなく、毛布やフード、おもちゃなどを人々が自由に寄付できるようにになっていたことです。

人々が気軽な気持ちで施設に立ち寄れるきっかけを沢山作ることで、ドイツの人々が普段からティアハイムに慣れ親しむことができていたんだなと実感しました。

ドイツと日本の動物福祉の現状は、余りにもかけ離れているのではと感じてしまいますが、このような少しの工夫やアイデアを日本でも取り入れていくことができれば素敵だなと思いました。



アニドネ Information

アニドネのプロモーション動画『キモチはつながる』が完成しました

この動画は、動物への想いを持った方々がボランティアとして作り上げてくれました。『キモチはつながる～保護犬と保護猫と生きる人～』ここに登場する犬・猫は、すべて保護犬・保護猫です。新しい飼い主と出会い、新しい毎日を過ごしています。「出会わなければ、失われていたかもしれない命」。ひとりでも多くの方がこの動画を見ることで、保護犬・保護猫という存在を知り、今の温かい暮らしを想像いただければと思います。ぜひご覧ください。



「キモチをカタチに」アニドネ募金箱設置のお願い

募金箱を設置していただく、カフェ、トリミングサロン、ドッグラン、ショップを大募集しております。動物のために活動する団体への寄付やアニドネの運営費として、大切に使用させていただきます。たくさんの方で、この募金箱を見た方が動物への優しいキモチをカタチにしてくれると、とても嬉しいです。設置をしてくださる方は、アニドネにご連絡ください。

E-mail : info@animaldonation.org
※メールタイトル：アニドネ募金箱設置希望 お名前：連絡先メールアドレス：電話：募金箱送付先：郵便番号住所 電話 募金箱設置場所のサイトがあれば URL



magazine STAFF



EDITOR
山本 和子



DESIGNER
丸山 美穂

animal donation magazine vol.1
発行：公益社団法人アニマル・ドネーション
住所：東京都港区南青山2丁目15-5 FARO1F
代表：西平衣里
URL：http://www.animaldonation.org/